

令和2年度第3回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和2年9月24日(木) 午前10時00分～12時05分

2 開催場所 浜松市役所 51会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
		佐藤 真輝
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	欠 席
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎
	西区社会福祉課	安間 俊弘
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		松井 亮
		岸 直樹
		永田 貴裕
	障害保健福祉課	生活支援第2グループ
山内 愛美		

4 議事内容

(1) 市全体会報告

相談支援部会 計画相談ワーキングについて

(2) 専門部会報告

- ・権利擁護部会 虐待対応ワーキング
- ・地域生活部会 こどもワーキング
- ・相談支援部会 委託相談評価ワーキング

(3) 第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい児福祉実施計画について

(4) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 無

7 会議記録

(1) 市全体会報告

<計画相談部会 計画相談ワーキングについて>

- ・委員より実態調査アンケートにおいて「法人の考え」「人材不足」という結果が出ているが、もっと踏み込んだ分析、バックグラウンドの分析をすべきとの意見があった。
- ・サポートプランについては、当事者のエンパワメントの観点から市全体会より検討についての理解が得られた。
- ・提案票で更なる検討をしていくために新規ワーキングの立ち上げについて提案をしている。企画会議メンバーよりサポートプラン等の意見を伺う場を持ちたい。

<意見>

- ・市全体会委員よりケアマネが障害分野の計画を立てることについて反対があったが、検討の余地は残しておくべきではないか。
- ・拡充を図る取り組みは必要だが、サポートプランは明確な打開策にはならないのではないか。
- ・市全体会委員から意見のあった法人へのアンケートは必須ではないか。
- ・障害から介護サービスへ移行できていないケースがあり、ケアマネへの上手なバトンタッチの仕方を検討してはどうか。介護+障害サービスを利用している人もいるため、実態調査を行ったり、そのような人から対応していくのはどうか。
- ・サービス量の伸びが見込まれる中で、市として提供体制の取り組みはどのようなことをしているのか。
→ (事務局より) 担当の指導 G において、実地指導等で法人や事業所に話をしているが、手上げる事業所がない。

- ・市として提供体制について具体的にどのような取り組みをしているのかを示してもらいたい。

<今後の対応>

- ・10月に相談支援部会新規ワーキング設置を含めた検討を行う臨時企画会議を開催する。

(2) 専門部会報告

○権利擁護部会・虐待対応ワーキング

- ・手引きの作成、対応スキームの整理を進めている。

○地域生活部会 こどもワーキング

- ・ツールの最終版を作成中。チェックに当てはまらない項目などを書けるように自由記載欄を追加する予定。
- ・11/24、12/8にアセスメントツールについての研修会を開催予定。
- ・アセスメントツールは今後相談員等の支援者に定着をさせていきたい。また、ツールを使った事例検討会を行いながら支援者同士がつながれるようにしていきたい。研修についてはいずれエリア単位で開催してもらうことを想定しており、各センターにはできるだけ研修会に参加してもらいたい。

<意見>

- ・このツールはケースの共有やケース会議にも使用可能か。区担当者から計画相談にツールを見せてもらいたいと依頼しても良いのか。
→(事務局より)本ツールは、ケースアセスメントだけでなく、支援者同士の状況共有にも使ってもらうことを目的としているため、是非情報共有に利用していただきたい。

○相談支援部会 委託相談評価ワーキング

- ・委託相談の機能強化、より良い体制作りをメインに評価指標の検討を行っている。
- ・委託相談の業務量が多くなっているため、本来の機能、重点的にできることについての指標を作っていくたい。
- ・ワーキングメンバーより、委託相談として1年間活動をしてから評価ができると良いのではないかとの意見があった。評価指標を今年度中に作成し、4～5月くらいにモデル評価を実施できたらと考えている。
- ・評価資料は、人員配置、機能の明確化など、仕様書の参考資料として活用してもらうことを考えている。

<意見>

- ・モデル実施の時期は、次年度に向けて年度末にできると良いのでは。
- ・ワーキングスケジュールがタイトなので、1年活動してからの評価でも良いのではな

いか。どこを見据えるかにもよるが、委託相談は3年契約なので、1年6か月くらいで評価を行っても良いのではないか。

- ・委託相談の評価を仕様書作成の資料として活用することは良いことではないか。

(3) 第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい児福祉実施計画について
※担当より資料を元に説明

- ・各エリアからの意見の取りまとめも可能。期限は10月始めまで。
- ・パブリックコメントの利用も可能。パブックコメントは11月24日からの予定。
- ・計画についての資料は市ホームページ自立支援協議会ページにアップする。

(4) その他

<エリア連絡会より>

- ・エリア連絡会の全体会において市全体会の報告を行う際、障害保健福祉課ではどのような周知方法を考えているのか。委託センターとしては行政から説明をしてもらいたいが、企画会議はG長、市全体会は課長が出席しており、統一した職員が会議に出席しているわけではない。

→(事務局より) エリア代表として社会福祉課課長、エリアセンター長に出席してもらっているため、各エリア内で社会福祉課と委託センターで調整をお願いしたい。今回は新型コロナの関係でG長の出席は遠慮してもらったが、今後はZoomを活用して負担のない形で会議に参加してもらうことも考えている。各エリアによって課題として捉えていること、大事にしていることは違うため、それぞれのエリアで報告内容のバラつきがでることあるのではないか。エリア連絡会として、必要なことや大切なことをエリア内で共有してもらえばよい。

- ・エリア連絡会全体会は、東エリア以外は2～3月の予定であり、市全体会の報告がタイムリーにできない。市とエリアのスケジュール連動は必要ではないか。

→(事務局より) 来年度の協議会スケジュールは早めに計画を立てていきたい。

<連絡事項>

第4回企画会議：相談支援部会新規ワーキングについての検討を行う。

10月開催予定。日程については後日連絡する。